

令和7年度 農福連携 技術支援者育成研修

参加
無料

～農業現場で実務的なアドバイスを行う人材を育成～

農業・福祉の知識と、農福連携を進める上で必要な作業細分化や難易度評価等を実践で学ぶ「農福連携技術支援者育成研修」を開催します。

研修を修了し、必要な知識と技術を身につけたと認められる方は、農林水産省認定の農福連携技術支援者として、農福連携に取り組む農業現場において実務的なアドバイスをを行うことができます。

研修内容

(1) 第1講座:座学研修(e-ラーニング)

<配信期間> 令和7年10月1日(水)～10月24日(金)

<内容>

農福連携概論、障害特性と職業的課題の基礎、農業経営の仕組み、農業者による農福連携の経営実務、農作業の一般的な特徴 など

※第1講座(e-ラーニング)終了後には、確認テストを実施し、採点の結果、必要な知識を身につけたと認められる者は第2講座を受講することができます。

(2) 第2講座:実地研修(グループワーク)

日時	集合場所	内容	講師
11月14日(金) 8:30～16:50	静岡労政会館	障害福祉サービス事業の運営の実務、障害特性に対応した農作業支援技法	社会福祉法人明光会 所長 中村文久 氏
11月25日(火) 9:00～16:50	中遠総合庁舎 会議室	農作業における作業細分化・難易度評価・作業割当ての技法	一般社団法人ノーマポート 代表理事 高草雄士 氏
11月26日(水) 9:00～16:20			GrandFarm株式会社 代表取締役社長 杉山明美 氏
11月27日(木) 9:00～15:00	静岡労政会館	修了試験	一般社団法人ノーマポート 代表理事 高草雄士 氏
11月27日(木) 15:00～16:30			-

(3) その他

- ・原則、全日程受講してください。
- ・実地研修の最終日に修了試験を実施します。修了試験の結果、必要な知識と技能を身につけたと認められる者について、農林水産省が「研修修了者」として認定します。認定の通知を受けるまでは、「農福連携技術支援者(農林水産省認定)」の肩書を用いることはできません(認定まで1～2か月程度かかります)。
- ・農福連携技術支援者(農林水産省認定)は、国家資格ではありません。



参加対象

農福連携の支援に関わっている者又はこれから関わろうとする者（農業者、福祉事業所の職員、職業指導員、生活支援指導員、JA職員等）（定員 20名）

※定員を超える応募があった場合は、主催者が選考を行います。

参加申込

申込締切:令和7年9月12日(金)



参加申込書により、郵送又はメールで、お申し込みください。

○郵送: 〒420-8601 静岡市葵区追手町9-6 県庁食と農の振興課

○メール: chiikinou@pref.shizuoka.lg.jp

参加申込書ダウンロードはこちら↓

<https://www.pref.shizuoka.jp/sangyoshigoto/nogyo/1040855/1027221.html>

問合せ先

静岡県経済産業部農業局食と農の振興課(TEL:054-221-2626)

会場案内

◇静岡労政会館
(静岡市葵区黒金町5-1)

◇中遠総合庁舎
(磐田市見付3599-4)



※静岡労政会館には駐車場がありませんので、自家用車で
お越しの方は、会場周辺の有料駐車場を御利用ください。



<農福連携ワンストップ窓口のご案内>

農福連携に取り組みたい農業者や福祉事業所の相談を受けて、コーディネーターがマッチングを図るとともに、継続して事業が実施できるよう支援しています。

(場所) 静岡市葵区呉服町2-1-5

(障害者働く幸せ創出センター内)

(運営) NPO法人オールしずおかベストコミュニティ

(電話番号) 054-251-3515

(ホームページ) www.all-shizuoka.or.jp/noufuku

